

道徳の授業について

§ 道徳の授業はこんな時間です §

道徳の時間では、読み物や映像などの教材を活用して授業を進めていきます。「道徳の授業」は、教材の中で考えられる諸問題を、様々な立場で考えたり、自分のこととして考えたりしながら「よりよく成長するために、一人一人が自分の心を見つめ、考えを広げたり深めたりする時間」です。

授業で活用するそれぞれの教材は、『人の気持ちがわかる人間を目指して』、『心の弱さを乗り越えるために』など、道徳で学習する内容を含んでいます。読み物教材に登場する人物に自分を重ねて考え、友達と話し合うことを通して、自分はどのように生きればよいのかを学んでいきます。

道徳の授業を通して学んだことを、これからの自分の生き方に生かしていこうとする思いをもつことができました

⇒ これは、道徳の時間に、物事の問題を、自分事として考えたり、今までの自分を振り返ることによって、考えていくことができます。

今までは〇〇と考えていたことが、△△という考えがあることにも気が付きました

⇒ これは、道徳の時間の話し合いで、様々な視点に立って考えたり、友達の意見を聞くことによって、考えを深めることができます。

道徳の授業では、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いて自分の意見と比べてみたりすることがとても大切です。右のルールをよく読んで、学校再開後の道徳の授業で、友達とたくさん話し合えるようにしておきましょう。

話し合いのルール

- ・自分の意見は理由をつけて話す。
- ・自分の立場を明確にする。
- ・意見は変えてもよい。
ただし、その理由を話す。
- ・友達が意見を言うことを
じゃましてはならない。
- ・友達の意見に賛成か反対かの
態度を表明する。
その際、理由を話す。
- ・友達の言う理由が納得できたら
その意見を認める。

発表するときはこんな言い方で！

- ・「私も～さんと同じです。
それは……………だからです。」
- ・「〇〇さんと同じで（違って）、
わたしは……………」
- ・「…について、もっと詳しく聞きたいのだけれど…。」
- ・「〇〇さんの話を聞いて思ったのですが……………」

※ 教科書3ページには

小グループでの話し合いの手引きも載っています。

教師と生徒が、人間としてのよりよい生き方を求め、共に考え、共に語り合い、実行に努めるための共通の課題である「内容項目(1)～(22)」を青木中学校では『**道徳二十二の心**』と呼んでいます。道徳の授業で、一つ一つの心と誠実に向き合いながら、考えを深めていきます。

A 主として自分自身に関すること

- (1) 自主, 自律 自由と責任
- (2) 節度, 節制
- (3) 向上心, 個性の伸長
- (4) 希望と勇気, 克己と強い意志
- (5) 真理の探究, 創造

B 主として人との関わりに関すること

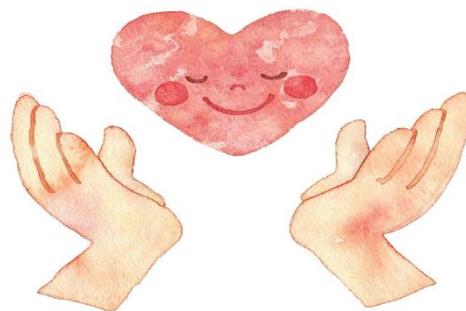
- (6) 思いやり, 感謝
- (7) 礼儀
- (8) 友情, 信頼
- (9) 相互理解, 寛容

**C 主として集団や社会との関わり
に関すること**

- (10) 遵法精神, 公德心
- (11) 公正, 公平, 社会正義
- (12) 社会参画, 公共の精神
- (13) 勤労
- (14) 家族愛, 家族生活の充実
- (15) よりよい学校生活,
集団生活の充実
- (16) 郷土の伝統と文化の尊重,
郷土を愛する態度
- (17) 我が国の伝統と文化の尊重,
国を愛する態度
- (18) 国際理解, 国際貢献

**D 主として生命や自然, 崇高なもの
との関わりに関すること**

- (19) 生命の尊さ
- (20) 自然愛護
- (21) 感動, 畏敬の念
- (22) よりよく生きる喜び



§ 休校中の課題の進め方 §

- 「今週の道徳の課題」の教材を読み、自分の考えを書こう。
 - ・ 「自分だったらどうだろう」と自分のこととして考えてみよう。
 - ・ 教材の中の物事を様々な視点から考えてみよう。
- 「私たちの道徳」に自分の考えを書こう。
- 「今週の道徳の課題」について、学んだことをおうちの人と話し合い、意見や感想をもらって、さらに考えを深めていきましょう。

※ 提出は**今週の道徳の課題**のみです。

プリント「私たちの道徳」は後日ファイルに綴じ込むので、大切に保管しておきましょう。

§ 保護者の皆様へ §

ご家庭でも、子どもたちに自分自身の考えをもっていることの良いさを感じさせていただきたいと思います。ぜひ、この休校中に、子どもたちと道徳的な価値などについて話し合う機会をもち、互いの考えを認め、励ましの声をおかけください。